

技能検定3級「電気系保全作業」に今年も4名の生徒が合格しました。

技能検定「電気系保全作業」は、リレーやタイマーを使用したシーケンス回路の製作・修復技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。今年度は情報技術科3年生6名が、5月末より放課後や休日に練習を重ね、6月には、この分野に精通された小口眞喜男先生を講師にお迎えし、電気系保全初級講座（主催：長野県職業能力開発協会）を開催し技能を高めてきました。検定機材は長野技術専門校様よりお借りしました。多くの皆様のご協力ありがとうございました。

秋からは、2年生を中心にして、後期職種である「シーケンス制御作業」に向けた準備を開始します。

